

奥井 恒さん（博士後期課程1年）がFlavor Physics Workshop 2018
においてベストトーク賞（理論部門）を受賞しました

2018年10月30日から2018年11月2日にかけて東京大学柏キャンパスカブリ
数物連携宇宙研究機構で行われた研究会「Flavor Physics Workshop 2018」にて、自
然科学研究科博士後期課程1年の奥井 恒さんがベストトーク賞（理論部門）を受賞
しました。

奥井君は、X線CTで人体の構造を調べるように、素粒子ニュートリノを使って
地球の中を検証する「ニュートリノトモグラフィー」の新たなアイデアを提唱しま
した。特に、近年提案されたニュートリノの新たな生成法であるニュートリノペア
ビームを想定して、ニュートリノ振動の物質効果を応用したトモグラフィーの方法
を提案しました。奥井君の今後の活躍が期待されます。

ベストトーク賞（理論部門） 奥井 恒

講演タイトル 「Tomography by neutrino pair beam」

研究会ホームページ <https://indico.ipmu.jp/indico/event/164/overview>



（中央にいるのが奥井君）